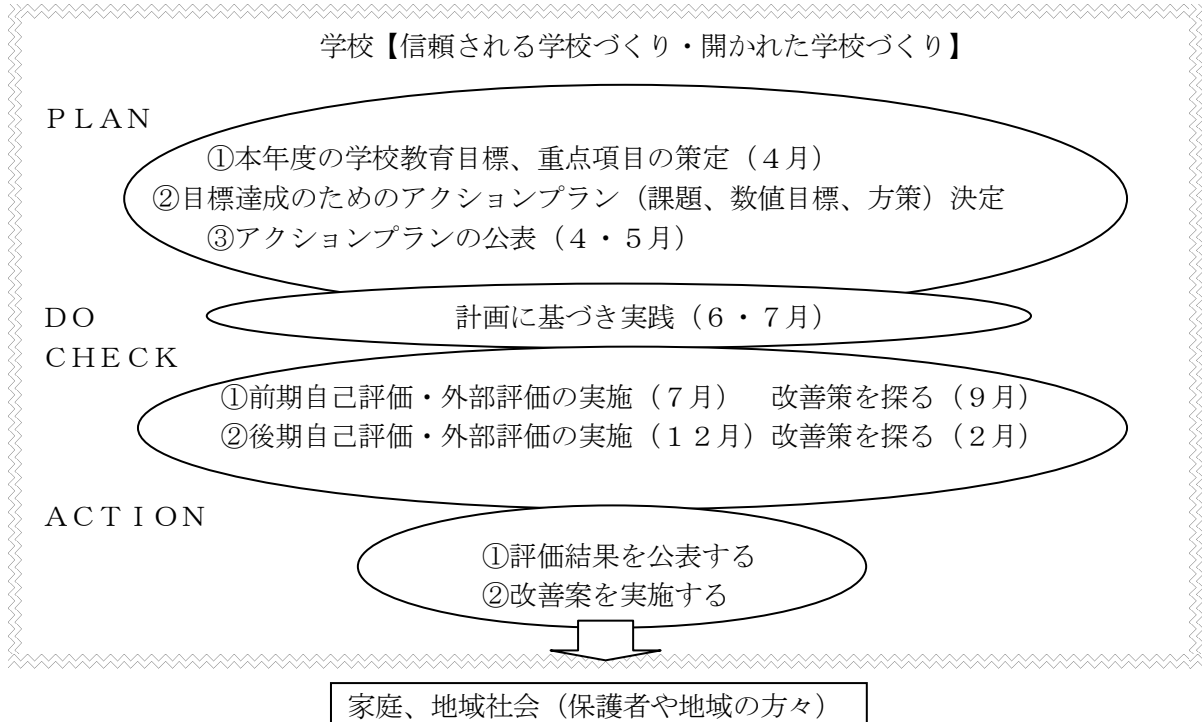


平成 23 年度 前沢小学校アクションプラン、学校評価の取り組み

- ① とやま型学校評価システム 3 つの観点
 - ・ 学校の教育重点目標をもとに、課題を設定し、分かりやすい数値で表す。
 - ・ 外部評価（学校評議員等）を実施する。
 - ・ 重点課題、数値目標及び評価結果を公表する。
- ② 学校評価の取り組み



| アクションプラン 1 | |
|------------|---|
| 重点項目 | 学習指導 |
| 重点課題 | 読書の習慣化 |
| 現 状 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 読書タイムの定着により、本に親しむ児童が増えている。低学年は、朝の読書タイムの読み聞かせを楽しみにしている。 ・ 平成 22 年度は学年ごとに達成目標を設定し、取り組みを進め、全校達成率は 86% であった。目標をはるかに超えて読書に取り組んだ児童が多く見られる一方で、なかなか読書量が増えない児童もあり、個人差がある。 ・ 家庭での読書や親子読書は継続して呼びかけており、徐々に取り組みが広がりつつあるが、定着しているとはいえない現状である。 |
| 達成目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学期ごとの学年読書目標の達成率 80%以上を目指す。 |
| 方 策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 週 2 回、火・金曜日の業前活動として読書タイムを設け、本に親しむ時間を確保する。 ・ 教師や学校図書館活動推進員、児童相互におすすめの本を紹介したり、読み聞かせやブックトークを積極的に取り入れたりすることで、読書への意欲を高める。 ・ 家庭学習において、音読や読書に取り組む機会を増やす。また、読書強調週間を設け、「親子読書」など家族と一緒に読書する時間をもつように呼びかける。 ・ 図書委員会が、本の紹介やクイズ、多読賞の表彰などを行う。 ・ 学校図書館活動推進員の協力を得て、「新刊コーナー」や季節や行事、学習内容に合わせた図書を紹介するコーナーを設けるなど、多様な読書に親しむことができる環境を整える。 |

| アクションプラン 2 | |
|------------|---|
| 重点項目 | 生徒指導 |
| 重点課題 | あいさつの習慣化 |
| 現 状 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おはよう」や「さようなら」のあいさつを自分から進んで言う児童が増えてきたが、まだ声が小さい児童もいる。平成 22 年度の児童の自己評価では、「大きな声であいさつする」の達成率は 82%、「自分からあいさつする」の達成率は 89% だった。 ・ 地域の人や来客にあいさつをする児童が少しずつ増えている。平成 22 年度の児童の自己評価では、「地域の方にあいさつする」の達成率は 81% だった。 ・ 児童の自己評価が比較的高いのに比べて、保護者の評価はやや低い。しかし、「おはよう」「おやすみ」などの家庭内でのあいさつには向上傾向が見られる。 |
| 達成目標 | 児童アンケート及び保護者アンケートのあいさつにかかわる項目全体の平均がいずれも 80%以上を目指す。 |
| 方 策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「しあわせ運動」の「わ」の運動として、児童会を中心にあいさつ運動に取り組む。大きな声であいさつする「あいさつ名人」の紹介や表彰を行う。 ・ 児童会活動として、定期的にあいさつ強調週間を設け、あいさつボランティアを募集し児童玄関前で子どもたち相互に呼びかけ合う「あいさつ運動」を進める。また、期間中は重点項目を設定し、カードなどを用いた評価活動を行う。 ・ あいさつをされたら元気にあいさつを返す「あいさつ返し」を習慣付ける。 ・ 家庭との連携を図り、家庭内で声を出してあいさつを交わし合う習慣をもつよう呼びかける。 |

| アクションプラン 3 | |
|------------|--|
| 重点項目 | 健康・体力づくり |
| 重点課題 | 運動の日常化 |
| 現 状 | <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ少年団や習いごと等で、生活に運動する機会をもつ習慣がついている児童と、運動をあまり好まない児童とに二分されている傾向がある。 ・ 自分の健康づくりや運動について目当てをもち、生活を振り返る「健康いちばんの日」の取り組みを続けてきたが、自己評価が曖昧で取り組みの達成感や充実感が感じにくかった。 ・ 平成 22 年度のスポーツテスト等の体力診断テストの結果では、全身敏捷性に優れているが、筋力や柔軟性に劣っていることがわかった。 |
| 達成目標 | 「みんなでチャレンジ3015」の1回目の達成率 90%以上、2回目以上の達成率 60%以上を目指す。 |
| 方 策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「みんなでチャレンジ3015」の記録用紙を教室に掲示し、運動するごとに記録しやすくする。 ・ 運動を継続しようとする意欲を高めるために「みんなでチャレンジ3015」を2回以上達成した児童には、児童が原案をデザインしたオリジナルの缶バッジを授与することとし、児童会の保健・運動委員会から啓発し、児童相互に励まし合いながら運動を続ける意欲を高める。 ・ 体力づくりコーナーを設け、児童が気軽に自分の力試しをしたり、多様な動きに取り組んだりできるようにする。 |